

福井駅前からグリフィス記念館までの道案内
(徒歩約 15 分)



福井駅西口です。左に観光案内所が見えますね。ガラス張りの建物（ハピリン）の吹き抜けをくぐる感じでまっすぐ進むと・・・



スクランブル交差点に出ますので、渡ってまっすぐ進んで下さい。(路面電車の線路に沿っていく方向です) [ちなみに前のカーブしている道路から西、元町商店街辺りまで百間堀という大きなお堀でした。(駅とその周辺は福井城内なんですね)]



線路の右側の歩道を歩いてきた場合は、百貨店のある側へ渡っておいて下さい。
(車に気をつけて) [ちなみにこの辺り、福井城の下馬門前です。] ここまで約5分。



地下道の入り口が見えますが、これは南北にしか渡れないのでスルーして地上の道を行います。[ちなみに左のレトロな建物は、戦災（1945）震災（1948）に耐えて残った福井では貴重な昭和初期（1934）の建築です。]



となりの銀行の前には北ノ庄城（柴田）もしくは福井城（結城）の石垣が！・・・まっすぐお進み下さい。【※福井城も当初は北ノ庄城ですが、後で福井と改称されました】



大名町の交差点に出ます。左に見える横断歩道を渡って左折して下さい。

[ちなみに大名町という地名は、酒井・狛・本多といった大身の武家屋敷が並んでいたことに由ります。] ここまで約10分。



マンションの左に足羽川の土手が見えています。幸橋の北詰です。(その向こうに足羽山も見えています。) マンションの右の道へ折れてまっすぐ行くとグリフィス記念館に着きますが、とりあえず左の橋の方へご案内します。

(仮にここをポイントAとしておきます。)



幸橋北詰。右手にさっきのマンションが写っています。前方土手の先の、グリフィス・日下部像へ。[左の橋を渡った南詰に三岡八郎（由利公正）の家の跡の碑とか、彼の家を訪ねた坂本龍馬の歌碑とか、三岡像（通り向かい）とか建っています。幕末に彼の尽力で橋が架けられるまで、対岸のお侍さんはボート（繰り舟）で登城していたんですね。]

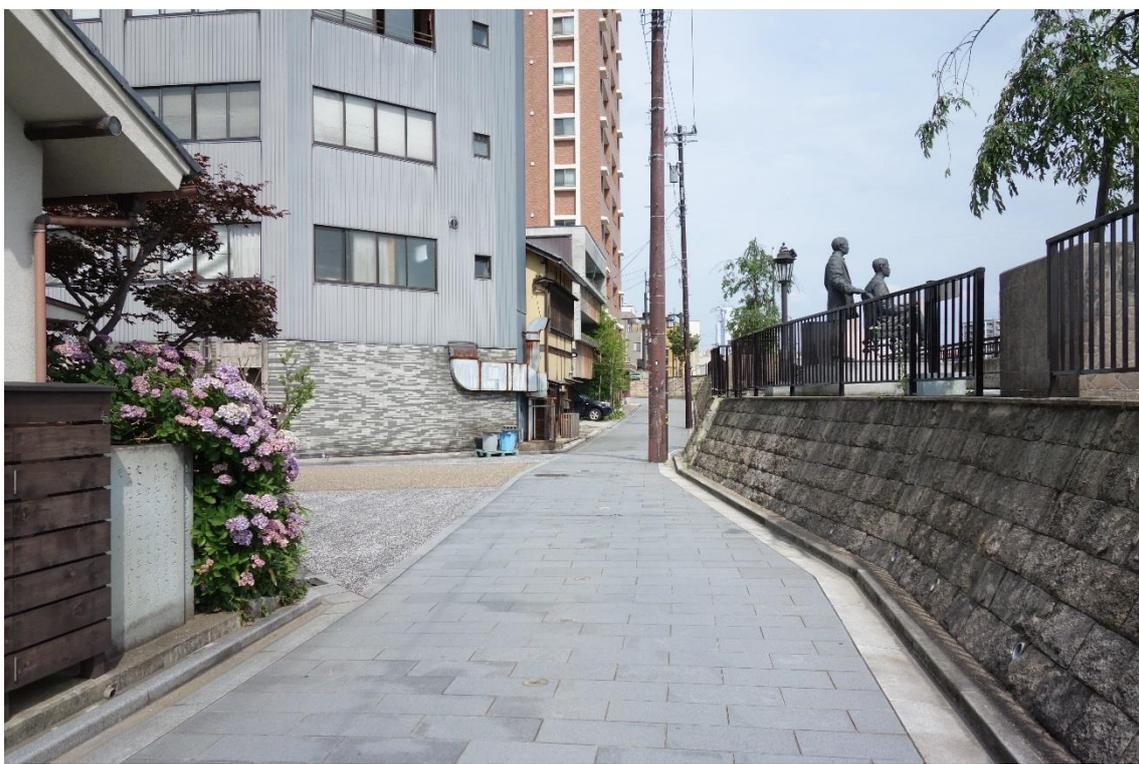


ウィリーとタロー、何をみているんでしょうか。土手の下、太郎さんの足の陰になっていますが・・・



横井小楠の滞在を示す石碑です。福井藩が招いたふたりの偉大な教師はだいたい

同じ場所に滞在していたんですね。



こんな位置関係です。(幸橋の方へ振り返って撮っています。)
写真の左手(石碑の角)へ折れてみて下さい。



石碑が立っていますね・・・



ここに建てられたグリフィスさんの家が記念館外観のモデルです。(碑文に「ルシーの居館」とありますが、ルーシーさんは住んでいません。二軒あった家のうち、グリフィ

スさんが住んだ家は彼が東京に引っ越した翌年に焼けましたが、残った方は昭和までここにあって、最後は料亭「風琴亭」として使われていました。)



右手に「異人館跡碑」が見えます。さっきのポイント A でマンションの右へ折れた場合も、ここへ出てきます。前方へまっすぐ行って突き当りで右折すると記念館が見えます。



土手の上の道をまっすぐ行って、前方の橋（桜橋）のたもとで右折しても着きます。



もちろん土手下の道でも行けます。天候などにより、お好きな道をどうぞ。



桜橋北詰で、右折です。[道路のむこうに案内板がありますが、結構車の通行が多いので気をつけて下さい。古風な橋ですが、架橋は昭和です。もう一本下流の橋がずっと昔から架かっている街道筋の九十九橋。今はコンクリートですが、明治まで半石半木造でした。(南側が石造。北ノ庄城址公園に遺構が保存されています。足羽山で採石された笏谷(しゃくだに)石は、グリフィス記念館にも使用されています。)桜橋の通りは福井城の外堀で、「桜門」という出入り口がありました。ここまでが福井城内なんですね。右折して直進すると「片町商店街」があります。お堀のため、片側だけに城下町があった事によります。福井の中心街は九十九橋の通り(旧城下町：グリフィスが福井で暮らした時代)→桜橋の通り(城と町の境目：グリフィスが再来日した時代)→幸橋の通り(旧城内：電車が走っています)と、西から東へ変遷したんですね。]



グリフィス館が見えました！[通りの向こう側ですから、旧城外になります。
城下町「浜町（はままち）」に建っています。館前のバス停も「浜町」です。]
ここまで約 15 分、足の速い方は 10 分ほどで着きます。お待ちしております。